ひとをつなぐ、未来につなぐ。

広報おおつち

Otsuchi

2024.3.5
3
March
No.723

台湾♡大槌町
感謝を伝え、交流を深める

第19回
「鬼は外！ 福はうち！」

8

6

4

CONTENTS

3
広報おおつち
March 2024
No.723

3 TOPIC
三陸鉄道は開業40周年を迎えます

4 台湾♡大槌町
感謝を伝え、交流を深める

6 居・色・自由　第19回　移住定住のページ
「鬼は外！ 福はうち！」

8 おおつちNEWS ～町の話題～

9 ＃おしゃっち　大槌町文化交流センターのページ

10 すくすく広場　子育て情報のページ

11 楽笑幸齢者になろう！　おらほの町の地域包括支援センター
おおつち愛・あいネット

12 大槌町教育委員会だより　欅の梢から

14 くらしの安心だより
災害時のトイレは大切！～水道・下水道が使えない時のトイレの使用方法～
引越しごみなどは、計画的に出しましょう
『ごみの出し方・分け方』を守りましょう

16 転入・転出の届出を忘れずに！

17 (仮称)鎮魂の森の整備状況をお知らせします

18 おおつちインフォメーション

24 おらDoの協働Do！「おもっせえ」活動を紹介！やっぺし協働！

令和6年（2024年）4月1日
三陸鉄道は開業40周年を迎えます

三陸鉄道は4月1日（月）、昭和59年（1984年）の開業から40周年を迎えます。通勤・通学や買い物の足、観光客の移動手段として日々、沿岸地域をつなぐ三陸鉄道。これまでの歩みと、記念イベントを紹介します。

三陸鉄道は、旧国鉄の盛線・宮古線・久慈線に、吉浜―釜石間と田老―普代間の路線を新たに加え、南リアス線（盛―釜石間）と北リアス線（宮古―久慈間）の2つの路線を持つ鉄道会社として開業しました。

開業から10年間は多くの皆さまに利用され黒字でしたが、沿岸地域の人口減少などとともに、乗車人員は年を追うごとに減少しました。そして、平成23年3月11日の東日本大震災津波により、線路や橋、駅舎などが流失しました。三陸鉄道は震災津波から5日後、陸中野田―久慈間で災害復興支援列車を運行。その後、国内外からの支援により復旧工事が進められ、平成26年4月に全線運行が再開されました。

平成31年3月23日、JR東日本から釜石―宮古間の復旧移管を受け、盛―久慈間、全長163キロ、全国の第三セクター鉄道の中で最も長い路線となる「リアス線」が誕生。その後、令和元年10月に発生した台風19号による被害や、令和2年3月から猛威をふるった新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、現在は観光客も少しずつ増えています。

三陸鉄道では、開業40周年を記念して、40周年記念列車の運行や記念式典や鉄道写真家の中井精也（なかいせいや）さんの講演を予定しています。また、40周年記念切符の販売や県内12カ所での写真展の開催などのイベントを企画しています。この機会に、三陸鉄道に乗って、みんなで盛り上げていきましょう。

40周年記念イベントカレンダー

月　日	内　容	場　所
通年（4月～）	記念切符の販売	盛駅・釜石駅・宮古駅・久慈駅
	三陸鉄道巡回写真展	県内12カ所
	40歳無料乗車キャンペーン	盛駅・釜石駅・宮古駅・久慈駅
4月1日（月）	開業40周年記念列車の運行	三陸鉄道全線
4月13日（土）	開業40周年記念式典・講演会	イーストピア宮古

その他のイベント情報は、公式ホームページで順次紹介します。

40周年記念グッズの紹介

三陸鉄道直営店「さんてつや」では県内外の企業と協力して、40周年記念グッズを販売しています。

三鉄アイス

三陸ペンケース

台湾♡大槌町
感謝を伝え、交流を深める

東日本大震災津波の復興支援や子どもたちの進学支援など、当町に多大なる支援をいただいた「復興ありがとうホストタウン」の台湾。この特集では、台湾からのこれまでの温かい支援と、当町との深い関わりを振り返ります。

2月1日（木）、台湾・台北市で漫画やアニメを発信する国際イベント「2024台北国際動漫節」が行われ、大槌町長を含む4人が台湾を訪問し、大槌町ブースを出展。大槌町のオリジナルアニメ「大槌カイ」などを通じて、町のPR活動を行いました。

当日、日本主題館で行われたステージイベントでは、現在制作中の町オリジナルアニメの村長や、大槌カイに扮した現地コスプレイヤーも登壇。イベントの中で行われたクイズ大会では、会場に訪れた約200人に、大槌町に関連したクイズを楽しんでもらい、そのクイズを通して町の魅力を発信してきました。

台湾とのつながり

台湾は、東アジアにある面積約3万6千平方キロメートルの島。日本から、海を隔てて南西に位置。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の「復興ありがとうホストタウン」の取り組みの中で、大槌町が登録している友好国の一つです。

台湾との交流のきっかけは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。この震災津波は、大槌町に家屋の全壊半壊4,167棟、死者行方不明者1,286人もの未曽有の被害をもたらしましたが、町の復興までの道のりでは、新しい多くのつながりが芽生えました。

町に届いた温かい支援

台湾において赤十字活動を行う組織の中華民國紅十字會からは、震災後、海外の被災者を救援する目的の寄付金「海外救援金」を活用した、約14億円もの義援金をいただきました。震災津波によって住む場所を失った多くの被災者に、1日でも早く

心から休むことができる住居を提供するため、この義援金は、町内に建設が計画されていた公営住宅656戸の整備費用などに充てられました。義援金が使われた公営住宅には、台湾からの支援への感謝を示す看板や石碑などが建てられています。

財団法人台湾慈濟慈善事業基金会は、慈善事業を中心に活動し、災害発生時には支援活動も行う団体。震災直後には、大槌町の被災世帯に義援金を送る支援活動を行いました。被災者支援の縁もあり、大槌町は、この基金会が創立した奨学金制度「慈濟新芽奨学金」の募集を、平成

御社地町営住宅の入口に設置された、台湾への感謝を示す看板

30年に初めて開始。これまで6年間にわたり、町内に住む10人の子どもたちの将来のため、進学費用を支援していただいています。

町長ら4人は、今回の「2024台北国際動漫節」ブース出展に合わせ、これまで支援いただいた中華民國紅十字會や台湾慈濟慈善事業基金会に改めて感謝を伝えるとともに、町の復興状況などを報告しました。また、台湾との交流を広げるため、日本台湾交流協会や旅行代理店3社を訪問し、町の取り組みを町長自ら説明しました。

つながりの芽を交流で育む

3月11日（月）で、東日本大震災津波から13年目を迎えます。これまでの道のりを振り返ると、国外からも多くの温かい支援をいただき、今があります。この貴重なつながりは〝謝謝〟のみで終わるものではありません。

令和5年4月8日、おしゃっちで行われた『漫画の絆』台日色紙展。東日本大震災津波から10年の節目を迎えた令和3年に、日本漫画家が、台湾からの支援に改めて感謝を伝えるため描いた108枚の色紙。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう最中の令和4年、日本から台湾に新型コロナワクチンが供与され、台湾漫画家が日本に感謝を伝えるため描いた120枚の色紙。お互いの感謝の思いから描かれ、展示された228枚もの色紙は、台湾と日本が互いに認め合った象徴ともいえます。

支援を送る側と受ける側の関係だけではなく、更に交流を深め、互いに理解しあい支え合う〝朋友〟の関係を築き上げましょう。

大槌町を訪れた中華民國紅十字會の皆さんと、公営住宅入居者との交流の様子（2020年2月）

第19回「鬼は外！ 福はうち！」

皆さんは「節分」と聞いて何を思いますか？「鬼に豆を投げて、福を呼ぶ」と考える人が多いと思います。「節分」は、季節を分けるという意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指します。旧暦での立春は、年の始まりを意味しており、冬から春に変わる春の節分は大切にされ、現代で「節分」として受け継がれる行事となりました。起源は諸説あるようですが、季節の変わり目には邪気（鬼）が入りやすいと考えられ、その邪気を払うために行われるようになったといわれています。

二渡の鬼が町内巡行

2月4日（日）、安渡の大槌稲荷神社では節分祭が催され、二渡山から11人の鬼が人里を訪れ、町内を巡行しました。この鬼たちは、町々家々の厄を背負って各所を練り歩いた後、神社で全ての厄を祓（はら）い清められることから「二渡の鬼は、厄を祓い、福を授ける」とも伝えられてきました。

「親の言うこと聞いでっか」「兄弟ゲンカはすんなよ」と子どもたちを戒めながら町内を周り、おしゃっちに到着した鬼たち。鬼に怯えて泣き出し逃げ回ったり、果敢に鬼に立ち向かう子どもたち。おしゃっちの館内には、たくさんの地域の人や親子連れが集まり、「鬼は外。福はうち」の掛け声とともに、鬼たちにめがけて一斉に豆が投げられました。

大槌稲荷神社権禰宜（ごんねぎ）の小國正人（おぐにまさと）さんは「私が高校生の時は、盛大な祭りだった。鬼たちは、町内を歩いている時も豆を投げられていた」と、当時を振り返ります。この節分祭は、毎年恒例の行事でしたが20年ほど前に休止に。令和2年に規模を縮小しながらも再開しましたが、その後、コロナ禍のため開催が見送られました。令和5年、3年ぶりに震災前に近い規模で復活し、本年は2回目の開催となりました。

豆まき神事で福来たる

鬼が巡行した後には、大槌稲荷神社の拝殿で厄除大祭釜鳴（かまなり）神事が行われ、約60人が参列しました。この神事は、中央にある大釜で米を蒸し、その時に出る音の大きさや長さで、1年の吉凶を占い、厄を祓い清めるものです。大釜から音が鳴らない年は特に気を付けるようにと、古くから伝えられてきました。本年は、音鳴りが早く、短く大きな音が拝殿に響きました。

15の個人や団体から協賛いただいた品物と豆は、神前でお祓いされた後、神社の境内に集まった人たちに向けて全てまかれました。神事で祓い清められたものを訪れた人に配ることで、福を分け与えるという意味があるといいます。境内を埋め尽くすほどに集まった人たちは、絶えずまかれる福を受け取り、会場には喜びの声や笑顔が溢れていました。

最後には、鵜鳥（うのとり）神楽の奉納が行われました。この神楽は、国指定重要無形民俗文化財に登録されていて、毎年1～3月にかけ、隔年交互に三陸沿岸を巡行する普代村に伝わる伝統芸能です。神事に参列した皆さんは、凛々しくもあり、時には観客を巻き込んだ愉快な演舞を楽しんでいました。

大槌の祭り魂を　後世に繋いでいく

子どもの頃に鬼から逃げていたことを今も覚えており、成長してからは、鬼に扮して子どもたちを追いかけたこともありました。東日本大震災津波やコロナ禍により休止せざるを得ない状況となりましたが、この節分祭は無くしてはならない、後世に伝えていきたいという思いで復活をさせました。

お祭りは神事で厳粛なものである一方、大槌まつりのように、神様と人が共に楽しみ賑わう側面があり、それが大槌らしさでもあります。厳粛な神事はもちろん大切だが、老若男女問わず、町民の皆さんが一緒に楽しめるような「大槌の魂たる祭」を欠くことなく、伝え続けていきたいです。

大槌郷総鎮守大槌稲荷神社　権禰宜（ごんねぎ）　小國（おぐに）　正人（まさと）さん

おおつちNEWS

OTSUCHI NEWS

1月14日 ぺったんぺったん元気よく 杵と臼を使った餅つき体験会

1月14日（日）、杵と臼を使ってお餅をついてみる体験会が、おしゃっちで行われました。会場に集まった子どもたちは、男の子だけでなく女の子も元気いっぱいに杵を持ち上げ、楽しみながら笑顔でお餅をついていました。

ついたお餅は、参加者に振る舞われました。会場には、あんこやみたらし、きなこ、ごまの４種類が用意され、参加した皆さんは自分の好きな味付けで、つきたてのお餅に舌鼓を打ちました。

2月3日 県内初の“子ども第三の居場所” 「つつみterrace」が完成

日本財団が全国に設置を進めている、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活や学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む、家でも学校でもない「子ども第三の居場所」。そのコミュニティモデルとなる「つつみterrace」が完成し、２月３日（土）に開所式が執り行われました。

「つつみterrace」は、木造２階建てで、子どもの学習場所や遊び場となるスペースの他に、飲食物を提供できるキッチンなども完備されており、県内では初めてのモデル施設です。開所式の後は、岩手県男性保育士連チームファンタジスタのステージや施設内覧会が催され、子どもたちは目を輝かせて楽しんでいました。

運営団体の社会福祉法人堤福祉会の芳賀潤理事長は「子どもたちが勉強で集ったり遊んだり、子ども食堂でみんなが食事する施設になってほしい。そして、地域の人たちも集い、みんなで利用できるような施設にしていきたい」と思いを語りました。「つつみterrace」は、子どもたちを包み込み、照らし輝かせることの願いを込めて名付けられています。

1月21日 冬の海に眠る神秘に触れる 三陸水中フォトコンテスト大槌

最優秀賞
平井佑之介『生命』

1月21日（日）、中央公民館吉里吉里分館で「三陸水中フォトコンテスト大槌」の表彰式が行われました。この写真コンテストは、大槌町藻場再生協議会が企画したもので、今回で４回目。ゲストとなる水中写真家の尾崎たまきさんの講義のもと、13人の参加者は前日に吉里吉里地区の海に潜り写真を撮影。この日は写真を自ら紹介し、集まった観客に披露しました。

最優秀賞に選ばれたのは、参加２回目の平井佑之介さん。また、優秀賞が５人に、審査員賞が４人に贈られました。最優秀賞を受賞した平井さんは「最近、海や川の環境の変わり目を感じる。自分が見たものを、これからも多くの人に伝えていきたい」と受賞の喜びを語りました。

シーサイドタウンマストで開催「藻場再生活動写真展」

星幸子『ホームグラウンド』

1月22日（月）～2月12日（月）に藻場再生活動写真展が行われ、シーサイドタウンマストのセンターコートには、大槌町の海で撮影された写真約60点と、吉里吉里学園小学部の児童が、ふるさと科の授業で学び、調べたことをまとめたポスターなどが展示されました。

また、同会場では「三陸水中フォトコンテスト大槌」の一般投票も行われ、星幸子さんの作品『ホームグラウンド』が、栄えある大槌町民賞に選ばれました。

はっしゅたぐおしゃっち おしゃっち

大槌町文化交流センター「おしゃっち」のページ

今月のイベント

おしゃっち event

プチ迷路でチャレンジ！ おおつちクイズ

3月24日(日) 10:00～13:00

おしゃっちでプチ迷路探検をしよう！その中には、おしゃっちやおおつちに関するクイズがあるよ！見事全問正解者には『おおちゃん賞（景品）』をご用意しています。皆さまの参加をお待ちしています！（参加無料）

【場所】多目的ホール

※安心して迷路を楽しんでいただくために、入場を制限する場合があります
※景品は数に限りがありますので、あらかじめご了承ください

おしゃっち event

おしゃっちラジオ体操

毎朝９時開催！ ※休館日（毎週火曜日）を除く

ご近所の皆さん以外にも、多数の人が参加しています。

どなたでも参加できます。
ぜひ、お気軽にご参加ください！！

おしゃっちの施設予約

おしゃっちのご予約はネットからが便利！
ご自身で、予約、変更、キャンセルができます。
※ご予約はパソコン画面の方が見やすいです。
※初回だけ簡単なアカウント登録が必要です。
https://www.oshacchi.com/

おしゃっちのイロイロ日々更新中 フォローお願いします！

問 大槌町文化交流センター TEL 0193-27-5181

図書館 event

企画展示 『童話作家 小国喜六』

2月29日(木)～3月30日(土)

大槌をこよなく愛した早世の童話作家である小国喜六の作品集や原稿を紹介する企画展示を行います。

図書館 event

読み聞かせ会

3月23日(土) 11:00～

【場所】図書館ミーティングルーム
【協力】大槌町図書ボランティア このゆびとまれ

各施設の貸出文庫をご利用ください

各地区の公民館や支所に配架している施設貸出文庫の入れ替えを行いましたのでご利用ください。次回の入れ替えは５月中旬を予定しています。

〈施設貸出文庫設置施設〉
安渡公民館 ／ 赤浜公民館 ／ 吉里吉里公民館 ／ 浪板公民館 ／ 金沢支所

休館日のご案内 毎週火曜日、第３木曜日（3/21）

図書館のホームページが新しくなりました

新しいホームページは、貸出ランキングやWEB利用者カードなどの便利な機能も追加しています。蔵書の検索もしやすくなっていますのでご利用ください。

またこのほかに、情報発信ツールとして図書館のFacebookもありますのでこちらもご覧ください。

役場の図書館ホームページ
資料検索のホームページ
Facebook

問 図書館 TEL 0193-42-7226

ここでは、高齢者に関わる様々な話題を掲載しています。

楽しく笑って幸せ齢者になろう!

おおつち愛・あいネット 大槌町高齢者等見守りネットワーク構築事業

「人」と「人」とが互いに支え合って安心できる地域づくりを

地域において支援が必要な人に対し、地域の皆さまが「あいさつ」「声かけ」「生活の様子を気にかける」などといった日常の活動に通じて、共に支え合って安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めることを目的としています。

おおつち愛・あいネットとは…

民間事業者が日常の業務の中で、見守り活動を行い、高齢者の異変に気付いた場合に地域包括支援センターに連絡することで、地域の高齢者を緩やかに見守っていくネットワークのことであり、専門職が対応し必要な支援につなげます。

57 事業者と協定を締結しています

理美容業や販売業、宅配業、水道、ガス、電気などの事業者に協力いただきながら、高齢者の見守りを行っています。

地域で支援が必要な人のちょっとした異変に気付き、関係機関に連絡することで早い階段で専門機関や地域の人たちが、支援の手を差しのべることができます。

見守りのポイント・サイン

- □ 新聞や郵便物がいっぱいになっている
- □ カーテンや雨戸を閉め切っている
- □ 洗濯物が何日も干したままである
- □ 電灯が昼夜つけっぱなしである
- □ 住宅内や庭先がゴミの山になっている
- □ 怒鳴り声や悲鳴が聞こえる
- □ 具合が悪そうに見える
- □ 服や体が汚れている
- □ 季節に合わない服装をしている
- □ お金の勘定ができない
- □ 最近、顔を見せなくなった
- □ 近隣とのトラブルが目立つ

愛のある目(アイ)で見守りを!

悩んでいる人、心配な人がいたら、相談窓口に相談をしましょう
大槌町地域包括支援センターにご連絡ください

【お問い合わせ】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

気軽に集える居場所「サロンおでんせ」

おおつち支え合い協議会、町で養成された介護予防サポーター、にこ♡にこパートナーで協力し、誰でも気軽に集える居場所「サロンおでんせ」を開催しています。

開催日	内 容	おしゃっち会場
3月14日（木）	おでんせカフェ	会議室2・3
3月21日（木）	運動 フラダンス	多目的ホール
3月28日（木）	カレンダー製作 桜	会議室2・3
4月4日（木）	個人製作	多目的ホール

※感染症などの影響により中止する場合は、施設掲示などでお知らせします。

【時間】10:00～11:30（出入り自由、申込不要） 【費用】100円 問 健康福祉課 TEL 0193-42-8716

大槌の子育て情報をまとめたページです

すくすく広場

健 診・相 談

3月の乳幼児相談・健診は下記のとおりです。面談でお子様の成長を確認します。対象者には個別に通知します。

■場 所 大槌町保健センター すこやかテラス
■持ち物 母子健康手帳、アンケートなど

実 施 日		健診・相談	対 象 児
3月12日（火）		2歳6か月児相談	令和3年8月生まれ 令和3年9月生まれ
3月15日（金）		3歳児健康診査	令和2年7月生まれ 令和2年8月生まれ
3月21日（木）	午前	4か月児相談	令和5年11月生まれ
	午後	7か月児相談	令和5年8月生まれ

問 健康福祉課 TEL 0193-42-8716

すこやか育児相談

お子様の成長で気になっていることについて個別相談（予約制）を実施します。離乳食の進め方の悩み、体重が増えているか心配、落ち着きのない様子が気になる、子どもへの接し方などの悩みを、保健師や助産師、栄養士、社会福祉士などの専門職員に話してみませんか?

■日 時 3月18日（月）① 9:30～ ②10:00～
③10:30～ ④11:00～
※予約状況により、日時を調整する場合があります。他の時間帯を希望する場合はご相談ください。
■場 所 大槌町保健センター すこやかテラス
■対 象 就学前のお子様とご家族 ※ご家族のみの相談可
■持ち物 母子健康手帳など
■予約締切 3月15日（金）
■予約方法 申し込みフォームまたは電話からご予約ください。 申し込みフォーム

問 健康福祉課 TEL 0193-42-8716

産前産後サポート事業 大槌まんまるサロン

助産師、子育て経験のあるママスタッフが子育てに関するちょっとした疑問・質問を一緒に解決。出産前・出産後の体調の変化やおっぱいのケア方法について、助産師さんに相談できる機会です。

■日時 ※予約制（定員になり次第締め切り）
3月28日（木） 午前 10:00～12:00（※10組）
午後①14:00～14:45（※1組）
午後②15:00～15:45（※1組）
■場所 大槌町保健センター すこやかテラス
■対象 大槌町に住んでいる①または②の人
①現在、妊娠中の人
②おおむね1歳までのお子さんを育てる母親とその家族
■内容【午前の部】・ママ同士の交流
・お子さんの体重測定、母乳についての相談
【午後の部】・個別の相談
■予約 電話およびメール 3月27日（水）16:00まで

問 NPO法人まんまるママいわて TEL 090-2981-1135
メール：info@manmaru.org

子育て支援事業のお知らせ

下記の事業所では、未就園児、未就学児、保護者のためのさまざまな子育て支援事業を企画しています。内容や日時などの詳細は、QRコードから情報ページをご覧ください。

■事業所 ・大槌町地域子育て支援センター「かりん」
・つつみ子育て支援センター「てくてく」
・おさなご幼稚園子育て支援事業「カンガルークラブ」
・認定こども園 みどり幼稚園
■内 容 ・園庭の開放 ・親子参加型企画
・パパ、ママのための企画 など

すくすく赤ちゃん

このコーナーでは、町内の1歳前後の赤ちゃんを紹介しています。

中村 凰李（なかむら おうり） くん
令和4年12月17日生
いつも笑顔な癒し系男子♡
虎舞ダイスキ!
（家族代表者名：中村俊平（なかむらしゅんぺい））

田中（たなか） さくら ちゃん
令和4年12月24日生
笑顔が可愛い
食いしん坊さくらちゃんです!
（家族代表者名：田中耕作（たなかこうさく））

佐々木（ささき） 麗凪（りいな） ちゃん
令和4年12月31日生
泣き声は誰にも負けない!!
すくすく大きくなぁれ♡
（家族代表者名：佐々木涼太郎（ささきりょうたろう））

大槌町教育委員会だより

欅の梢から

学びは楽しい～児童生徒実践発表会・全体研修会

おしゃっちで１月 25 日（木）、令和５年度の「ふるさと科」や「三陸みらい探究」の取り組みの発表、町を代表して視察研修した先生の皆さんの報告、そして年末に上映会を行った映画『みんなの学校』のモデルとなった大空小学校初代校長の木村泰子さんの講演会を行いました。児童生徒の発表では、大槌学園５年生による「イトヨ」や、吉里吉里学園６年生の「鮭」など、大槌町がずっと大切に守ってきた自然にまつわる学習の成果を、各学園で工夫して発表しました。大槌高校の飛田冴英さんによるマイプロジェクトの発表は「対話」をテーマに、大人もいろいろと考えさせられる内容を堂々と伝えていました。木村さんの講演では、映画の後日談や、今もなお、教育や子どもたちに対する熱い思いを持って精力的に活動されていることなどをお話しいただきました。木村さんは「（発表した）子どもたちの姿から、大槌町は地域全体で子どもを育てていることがわかる」と、今回の発表会を講評いただきました。これからもみんなで目指す「大槌の教育」に向かって、子どもだけでなく教員も学び続けますので、応援をよろしくお願いします！

参加した皆さんからの感想

・自分たちが住んでいる町を愛し、町について学ぶ姿、そして園の時と比べ、本当に大きく成長した姿に感動した。私自身も子どもを育てる立場から、今後もっと大槌の魅力について伝えていきたいと思った。（保育関係）
・小学生の皆さんの学びの成果に、大変感動した。大槌の地域で学んだことがきっと子どもたちの心に残るものになっているのではないかと思う。そこから成長した高校生の発表も大変頑張っていた。０歳から 18 歳の学びが連続的に成長につながっているのだろうと感じた。（高校職員）
・学びの目的は「その子がその子らしく育つこと」という言葉が印象に残った。自分もできないことばかりに目を向けるのではなく、無理な時は先輩たちの協力を仰ぐ姿勢が大切だと学んだ。（教員）
・日ごろの子どもへの接し方、言葉がけ、教育観についてハッとさせられる内容だった。子どもが主体となることが重要であることを頭では理解していても、振り返ってみるとこちらの都合で無意識に教師主体になっていることがあるのではないかと猛省させられた。（教員）
・さまざまな新しい視点をいただいたが、特にも「学校のキャパを広げる」という視点がとても共感できた。「特別」という枠で多様な生徒の枠を確保するのではなく、今ある「学校」の枠を広げて全ての子どもが自分らしくいることができる場所をつくりたい。（教員）
・もう一度、どんな子どもたちの姿を目指していくのかを、もっと具体的に、もっとはっきりと、みんなで明らかにしていきたい。今、自分の中では、それが明らかでないので、迷うことが多い。講演会は勉強になったし、そしてたくさんのことを考えた。終わってから同僚と「答えのない問いについて」議論をした。そのようなきっかけを作っていただいてありがたかった。（教員）

大槌高校だより

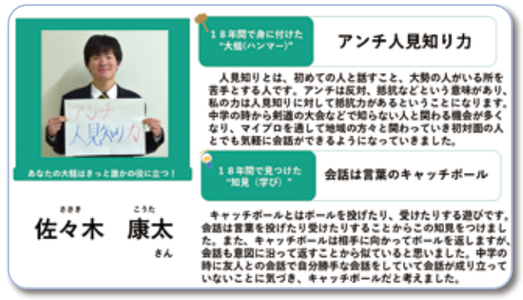
大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！

HP note

大槌高校HPやnoteでも学校生活の様子を発信しています！

私が18年間で身につけた“大槌”(ハンマー)

これから新しいスタートをきる３年生。
変化の激しい社会であっても、大槌で育った 18 年間で身に付けた自分の強み（ハンマー）を糧に、前に進んでいけると信じています。３年生が大きな成長を遂げたのも、多くの地域の皆さんの温かいご協力のおかげです。18 年間、ありがとうございました。



本江 紗羅 さん

「はま留学」の１期生が卒業します！

３年間お世話になりました。１期生で不安もありましたが、地域の人の応援がなかったら、ここまで頑張ってこられなかったと思います。初めて親元を離れて生活しましたが、地域の皆さんが身内のように接してくださり、優しい言葉をかけていただいたことが支えになりました。４月には大槌を離れてしまいますが、ここでの生活を励みに進学先でも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました！

くらしの安心だより

災害時のトイレは大切！
～水道・下水道が使えない時のトイレの使用方法～

災害時、水道が被災して、水が使えない、
下水道が被災して、水を流せない
そんな時のトイレの使用方法をご紹介します。

①便袋（携帯用トイレ）を準備します。
②袋を取り出し、便器にかぶせます。
③凝固剤を入れます。※
④用を足します。※
⑤口をきつく縛って、捨てます。

※使用するメーカーによっては、凝固剤を先に入れるタイプと、
後から振りかけるタイプがありますのでご注意ください

便袋（携帯用トイレ）の備蓄する量の目安は、
1日5回分×人数分といわれています。

災害時、特に下水道が被災している時は、敷地内または道路から汚水があふれる恐れがありますので、トイレを流すことはやめましょう。皆さまのご協力をお願いします。

なお、町の避難所には、便袋（携帯用トイレ）を備蓄していますので、水道や下水道が使えない時も、この方法でトイレを使用することができます。

問 防災対策課　TEL 0193-42-8781

引越しごみなどは、計画的に出しましょう

春の日差しがきらめく頃となりました。４月から、町内外で新たな環境に身を置く皆さんも多いのではないでしょうか。

３月は、引越しや片付けが多く見受けられる時期ですが、引越しなどで、一度に大量のごみを集積所に出すと、集積所が一杯になり、普段の生活ごみが出せなくなってしまいます。

引越しなどで、ごみを出す場合には、少量ずつ複数回に分けて、計画的に出すようお願いします。

また、一度に処分したい場合には、**リサイクルセンター（燃えるごみ以外）**または**岩手沿岸南部クリーンセンター（燃えるごみ）**への直接搬入もできますので、下記までお問い合わせください。**搬入する重量によって、料金が発生する場合があります。**

（※岩手沿岸南部クリーンセンターでは、不要な羽毛布団を無料で引き取ります）

問 リサイクルセンター　TEL 0193-42-7570
問 岩手沿岸南部クリーンセンター　TEL 0193-27-7020

『ごみの出し方・分け方』を守りましょう
～“ごみ”ではなく“資源”です～

ペットボトル編

清涼飲料水の主要な容器であるペットボトルは、**資源としてリサイクルされ**、衣類や卵パック、飲料用ボトルなど、さまざまな製品に生まれ変わっています。

ペットボトルを集積所に出す場合

ステップ1

ペットボトルをキャップ・ラベル・ペットボトル本体に分けてください。

ステップ2

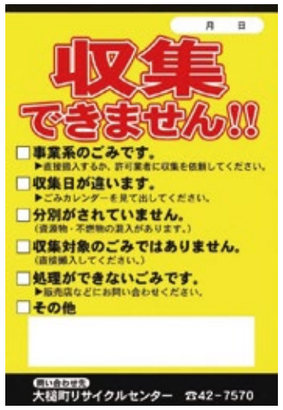
水ですすいで、中をきれいにしてください。

ステップ3

キャップ・ラベル・ペットボトル本体をそれぞれ透明な袋に入れて、集積所に出してください。

きちんと分別すると、限りある資源を有効に使うことができます。町は、容器包装リサイクル法に基づき、（公財）日本容器包装リサイクル協会を通じて、ペットボトルなどのリサイクルに努めています。

ペットボトルに限らず、ごみを出す場合は、**『大槌町ごみ収集カレンダー』**などを確認し、ルールを守って集積所に出しましょう。収集にご協力をお願いします。



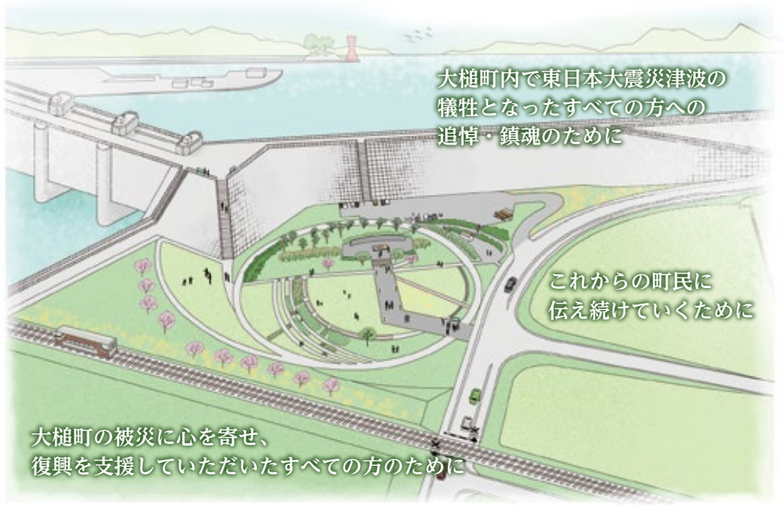
※ごみの分別の仕方が悪い場合には、収集できない場合があります

詳しくは、下記までお問い合わせください。

問 リサイクルセンター　TEL 0193-42-7570

鎮魂の森

（仮称）鎮魂の森の整備状況をお知らせします



（仮称）鎮魂の森とは

東日本大震災津波に関する町全体の「追悼・鎮魂」の場とするとともに、町民が日常的に集い、憩い、交流の場として永く親しまれながら、森を育んでいくことを通じて、「被害と教訓」、「復興への想い・感 謝」と「希望」を将来世代にメッセージとして伝え続けていくことができるような場として整備しています。

基本方針

1 犠牲者への追悼・鎮魂
犠牲者を想い祈る、町全体の場

2 震災津波による被害と教訓の伝承
震災津波の脅威を正確に長く後世に伝えていくための場

3 復興への想いの継承
復興への想いを継承するとともに、支援への感謝を忘れないための場

4 憩い・交流空間の形成
多くの人が集まり、交流や伝承ができる場

町は、（仮称）鎮魂の森の整備を、３つの工事に分けた計画で進めています。令和５年７月から着手している整備工事（その1）は、計画どおり進んでいます。その他、２つの工事を経て、令和7年7月の完成を目指します。

工期予定	主な内容
整備工事（その１） 令和５年７月21日～ 令和６年３月31日	土木工事、地下埋設工事など。 芳名碑・献花台・水盤製作。
トイレ新築工事 令和６年３月から	トイレ１棟（55.44㎡、鉄筋コンクリート造）
整備工事（その２） 令和６年６月以降	園路、舗装、植栽工事、芳名碑設置など。

愛称募集のお知らせ

町は、これまでの経過を踏まえ、この施設の名称を「大槌町鎮魂の森」にしたいと考えています。さらに、整備にあたっては、これまでに多くの皆さんの思いが形として実現する施設であることから、愛称を幅広く募り、決定します。

【募集期間】３月７日（木）～４月25日（木）　※当日消印可
【応募方法】応募用紙などに必要事項を記入し、応募箱・郵送・FAX・メールのいずれかで応募ください。
※応募箱の設置場所は、役場町民室、おしゃっち、シーサイドタウンマスト
【採用作品の発表】令和６年６月（予定）　※副賞あり
【必要事項】① 愛称（ふりがな）　② 愛称の簡単な説明　③ 氏名（ふりがな）　④ 年齢
⑤ 職業または学校名・学年　⑥ 住所および電話番号

問 協働地域づくり推進課震災伝承推進班　〒028-1192 岩手県上閉伊郡大槌町上町１番３号
電話：0193-42-8718　FAX：0193-42-3855　メール：densyo@town.otsuchi.iwate.jp

春は引っ越しの季節です。転入・転出の届出を忘れずに！

転入届

大槌町に住み始めてから14日以内に届出が必要です。

■届出人
本人または同一世帯員
■持ち物
・マイナンバーカード
・身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証と医療受給者証など）
・転出証明書（マイナンバーカードで転出届をした人は、証明書がない場合があります）

転出届

大槌町から他市区町村に引越しする日の14日前から届出が可能です。

■届出人
本人または同一世帯員
■持ち物
・マイナンバーカード
・身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証と医療受給者証など）

問 町民課　TEL 0193-42-8713

町営住宅や県営住宅の転入・転出は、事前の手続きが必要です!!

大槌町内の町営住宅や県営住宅の転入・転出の届出をする人は、町民課で行う届出の前に、必ず下記の問い合わせ先に連絡し、事前の手続きをしてください。

■町営住宅について　問 地域整備課　TEL 0193-42-8722
■県営住宅について　問 大槌住宅管理センター　TEL 0193-27-8440

転出届はオンラインで提出できます！

マイナンバーカードを所有している人は、マイナポータルからオンラインでも転出の届出が可能です。オンラインで届出すれば、役場窓口への来庁が原則不要になります。詳細は、デジタル庁ホームページをご覧ください。

※医療保険（国民健康保険、後期高齢者医療制度）、児童手当や学校、医療費助成、介護保険などの手続きは、役場窓口への来庁が必要な場合があります
※転入届出は、転入先市区町村の窓口で行う必要があります

デジタル庁政策ページ
「引越し手続オンラインサービス」

健康

全町一斉ラジオ体操を開催します

体を動かす機会が減少し、体力の衰えや心身の不調などが心配されていることから、定期的に体を動かす機会を提供し、運動の習慣化と自身の体調管理に努めていただくために、ラジオ体操第1を全町一斉に放送します。

■**放送期間**　令和6年4月3日から令和7年3月26日までの毎週水曜日(令和6年8月14日（水）および令和7年1月1日（水）は除く)

■**時間**　15：00～15：05

問 **生涯学習課　TEL0193-42-2300**

令和6年度乳幼児相談・健診の年間日程

令和6年度に実施予定の乳幼児相談・健診などの日程は、3月上旬に町ホームページへの掲載を予定しています。また、町内の保育所などの施設や支援センターにも日程表を配布する予定ですので、ご確認ください。

問 **健康福祉課　TEL0193-42-8716**

健康寿命延伸 さわやかストレッチ教室

大槌町健康運動普及推進員さわやかウォーキングの会では、健康寿命延伸を目的としたストレッチ教室を毎月開催しています。開催場所は下表のとおりで、全会場暖房完備です。みんなで一緒に体を動かし、健康づくりをしませんか。参加無料。申し込み不要で、どなたでも参加できます。

場　所	開催日
吉里吉里公民館	3月5日（火） 3月19日（火）
赤浜公民館	3月8日（金） 3月26日（火）
大ヶ口多目的集会所	3月7日（木） 3月21日（木）
おしゃっちレッスン室	3月6日（水）
桜木町保健福祉会館	3月13日（水） 3月27日（水）
臼沢・寺野ふれあい集会所	3月14日（木） 3月28日（木）

■**時間**　13：30～15：00

■**内容**　健康寿命延伸さわやかストレッチ、セラバンドを使用した筋力トレーニング、栄養ミニ講話など

■**持ち物**　上履き、水分、バスタオル、運動しやすい服装

問 **大槌町さわやかウォーキングの会事務局（健康福祉課）TEL0193-42-8716**

健康相談

町は、健康相談を実施しています。

日時・場所	内　容
3月18日（月） 9：30～10：30 岩手県立大槌病院	健康相談、高齢者に関する介護・生活相談【申込不要】
3月22日（金） 9：30～11：00 マストセンターコート	血圧・体組成測定【申込不要】

※感染症などの影響により中止する場合は、施設掲示などでお知らせします。

問 **健康福祉課　TEL0193-42-8716**

元気活きいき運動教室

町は、楽しみながら体力の維持・向上を図る“元気活きいき運動教室”を開催しています。参加は無料です。

■**日時**　3月14日、28日（毎月第2・4木曜日）13：00～15：00（申込不要、直接会場へ）

■**場所**　城山公園体育館

■**内容**　ファミリーバドミントン・卓球など

■**持ち物**　上履き、水分、タオル、運動しやすい服装

※感染症などの影響により中止する場合は、施設掲示などでお知らせします。

問 **健康福祉課　TEL0193-42-8716**

釜石保健所各種無料相談および検査

項　目	実施日
◆エイズ相談・検査 ◆性感染症検査（性器クラミジア検査・梅毒検査） ◆肝炎ウイルス検査（B型・C型） ◆HTLV-1相談・抗体検査	3月21日（木） 11：00～12：00 （予約制） ※毎月第3木曜日
骨髄バンク登録	3月21日（木） 14：30～15：00 （予約制） ※毎月第3木曜日
こころの健康相談	3月14日（木） 15：00～17：00 （予約制）

問 **釜石保健所保健課　TEL0193-25-2710**

「こころに寄り添い いのちを守る いわて」月間

国では毎年3月を「自殺対策強化月間」と定め、岩手県でも3月の1か月間を「こころに寄り添い　いのちを守るいわて」月間と定めて取り組みを行っています。

3月は自殺者が増える傾向にあります。その理由は、多くの企業の決算期に当たり、仕事上の問題や経済的な問題を抱える人が増えるためと言われています。また、就職や転勤、進学、引っ越し、家族や友人との別れなど生活環境が大きく変化し、ストレスを受けやすい時期に当たることも、自殺者が増える要因と言われています。

日頃誰にも話せない悩みがあったり、その悩みによりつらい気持ち、悲しい気持ちになることはありませんか。

あなたに寄り添い、こころの悩みを受け止めてくれる相談機関があります。一人で抱え込まず、相談してみませんか？

■**健康福祉課**
TEL0193-42-8716
平日8：30～17：15

■**盛岡いのちの電話**
TEL019-654-7575
月～土曜日12：00～21：00、日曜日12：00～18：00

■**こころの相談電話**
（岩手県精神保健福祉センター）
TEL019-622-6955
平日9：00～18：00（祝祭日および12月29日～1月3日を除く）

■**岩手自殺防止センター**
TEL019-621-9090
土曜日20：00～24：00

■**＃いのちSOS**
TEL0120-061-338（フリーダイヤル）
00：00～24：00（木曜日のみ6：00～24：00）

○「こころに寄り添い　いのちを守る　いわて」ホームページでは、悩みごと別に相談先を掲載しています。

問 **健康福祉課　TEL0193-42-8716**

「児童虐待かも」と思ったらすぐにお電話ください

子どもへの虐待は心と体を深く傷つける許されない行為です。虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、市町村や児童相談所などの関係機関に通告することが義務づけられています。

虐待を受けている子どもを見つけたときや、虐待をしたかもしれないと不安に感じているときは、下記相談・通告先までご連絡ください。子どもへの虐待を許さない気持ちを持ち、地域全体で防いでいきましょう。

■**相談・通告先**
健康福祉課　TEL0193-42-8716
宮古児童相談所　TEL0193-62-4059
児童相談所虐待対応ダイヤル
TEL189（いちはやく）

※子どもの生命に危険があるときは、迷わず110番（警察）へ

令和５年度　第３回　さわやか町内ウォーキング

桜木町の避難階段をのぼり、小鎚川沿いの景色を探訪してみませんか？ 参加は無料です。

■**日　時**　3月23日（土）9：30～12：00

■**場　所**　桜木町保健福祉会館前に集合

■**持ち物**　水分、タオル、帽子、動きやすい服装、万歩計、熊鈴など

■**申込方法**　3月22日（金）までに下記にご連絡ください。

ウォーキングコース

桜木町福祉会館前集合→祝田観世音菩薩堂のお話を聞く→避難階段「のぼーる」を目指す→避難階段を上り休憩→三陸沿岸道路避難階段上り口を確認→小鎚川沿いの土手を歩いてマストを目指す→休憩→桜木町福祉会館へ到着

※悪天候の場合は、桜木町保健福祉会館でぴんころ体操、さわやかストレッチ、ソフトジムを使用したシッティングバレーを予定してします。上履きをご持参ください。

問 **健康福祉課（大槌町さわやかウォーキングの会事務局）　TEL0193-42-8716**

お知らせ

国民年金保険料の免除申請はお済みですか?

経済的な理由などにより、国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の免除・猶予制度があります。また、学生は、学生納付特例（納付猶予）の制度があります。

また、過去に新型コロナウイルス感染症の影響により所得減少した場合には、申請月の2年1か月前（既に保険料が納付済みの月を除く）の月分から、令和4年度分（学生納付特例申請は令和5年3月分、免除・納付猶予申請は令和5年6月分）までを、さかのぼって申請することができます。

免除などの承認を受けずに保険料が未納の状態で、けがや病気で障がいや死亡などの不測の事態が生じると、障害年金や遺族年金を受けることができない場合があります。申請を希望する場合は、お早めに年金事務所または役場にて、申請手続きをお願いします。

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧になるか、宮古年金事務所までお問い合わせください。

問 **宮古年金事務所　TEL 0193-62-1963**

イベント

「おおつちアニメフェスタ3」を開催します

町のエンタメ情報を総力特集するイベント第3弾を、オンラインを飛び出して初のリアル開催します。大槌町を長らく支援いただいている豪華声優ゲスト陣などをお迎えし、トークショーや町内伝統芸能団体による演舞を行います。また、町アニメの新作情報の発表や町内商業者のブース出展、餅まきもあります。入場は無料です。

■**日時**　3月17日（日）11:00～15:00
■**場所**　シーサイドタウンマスト　センターコート
■**MC**　天津飯大郎さん（お笑いコンビ・天津）
■**ゲスト**　佐藤ひろ美さん（三陸♥おおつちPR大使）、島田敏さん（「ちびまる子ちゃん」友蔵おじいちゃん役など）、高山みなみさん（「名探偵コナン」江戸川コナン役など）

おおつちアニメフェスタ3

問 **産業振興課　TEL 0193-42-8725**

第2回　魚のさばき方講座

自分で釣った魚をさばいて家族に食べさせたい！もっと手早く、きれいに魚をさばきたい！ご近所さんから新鮮な魚をもらったけど、どうしよう…

そんなあなたに、ご家庭でもできる簡単な魚の下ごしらえのコツを教えます！　2回目のお題は「北寄貝（ホッキ貝）、柵の使い方編」です。

■**日時**　3月23日（土）13:00～15:00
■**場所**　中央公民館　調理室
■**定員**　8人　※要予約、小学生は親子での参加が必要
■**参加費**　1,000円（鮪、北寄貝）
■**講師**　河合秀保さん（河合商店）

問 **大槌町中央公民館**
TEL 0193-42-3030

春休み親子映画会（DVD鑑賞会）

集会・読書・学習・展示などの機能を備えた大槌町中央公民館内にある「大槌文化ハウス」を、町民の皆さまに知ってもらい、利用してもらうために親子映画会を開催します。参加は無料です。

■**日時**
（1）3月26日（火）　10：30～11：30「ぞくぞく村のオバケたち①」、13：30～14：30「おしりたんてい①」
（2）3月27日（水）　10：30～11：30「ぞくぞく村のオバケたち②」、13：30～14：30「おしりたんてい②」
■**場所**　中央公民館　大槌文化ハウス
■**定員**　15人程度

問 **大槌町中央公民館**
TEL 0193-42-3030

「思い出の写真」返還会

東日本大震災津波で流出した写真「思い出の写真」を、所有者またはその家族にお返しするため、返還会を開催します。

■**日時**
3月9日（土）13：00～16：00
3月10日（日）9：00～16：00
3月11日（月）9：00～12：00
■**場所**　おしゃっち　会議室2・3

問 **協働地域づくり推進課**
TEL 0193-42-8718

大槌町震災伝承講座

東日本大震災津波の記録や教訓などから防災を学び、今後の災害に「備える」行動につなげるため、震災伝承講座を開催します。参加は無料で、事前申し込みが必要です。

■**日時**　3月9日（土）9：30～12：00
■**場所**　おしゃっち　多目的ホール
■**定員**　30人
■**申込方法**　3月7日（木）までに電話またはメールで下記に申し込みください

問 **協働地域づくり推進課**
TEL 0193-42-8718
メール：densyo@town.otsuchi.iwate.jp

東日本大震災パネル展「被災地」福島　十二人の12年

東日本大震災により発生した福島第一原発事故に遭った12市町村から1人ずつ人物を取り上げ、原発事故後12年の生きざまを振り返りつつ、被災地域の今を伝えるパネル展を開催しています。

■**展示期間**　3月2日（土）～3月11日（月）※3月5日（火）は休館
9：00～22：00
※最終日は14：00まで
■**場所**　おしゃっち

問 **福島大学地域未来デザインセンター・相双地域支援サテライト**
TEL 0240-23-6675

相談・説明会

家計の悩み相談会

お金（家計）の心配ごとや悩みごとを専門の相談員に相談できます。相談は無料です。

■**日時**　3月28日（木）10:00～15:00
■**場所**　役場1階　相談室
■**対象者**　町内在住で家計に関する悩みのある人（相談時間1人1時間程度）
■**予約先**　下記までご連絡ください。

問 **認定特定非営利活動法人インクルいわて　TEL 080-9635-0407**

配偶者・恋人からの暴力に悩んでいませんか?

配偶者や恋人などの親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力のことをDV（ドメスティック・バイオレンス）と言います。DVは、身体的暴力だけでなく、精神的暴力や性的強要などの性的暴力も含まれます。一人で悩まずご相談ください。

■**DVについての問い合わせ・相談先**
DV相談ナビ　TEL ＃8008
全国共通　DV相談＋（プラス）
TEL 0120-279-889（メール・チャットでも相談可能）
※緊急の場合は110番または最寄りの警察署へ

問 **沿岸広域振興局保健福祉環境部**
TEL 0193-25-2713
（月～金曜日、8：30～17：15）
問 **健康福祉課　TEL 0193-42-8716**

岩手弁護士会無料法律相談

岩手弁護士会が無料法律相談を開催します。相談には必ず予約が必要です。

（1）大槌町会場
■**日時**　3月7日（木）、3月14日（木）、3月21日(木)、3月28日(木)
10：00～15：00
■**場所**　役場3階　小会議室3（3月7日のみ役場1階　相談室1）

問 **岩手弁護士会法律相談センター**
TEL 019-623-5005

（2）釜石市会場
■**日時**　3月13日（水）、3月27日（水）10：00～15：00
■**場所**　釜石市役所第1庁舎1階　生活環境課　消費生活センター

問 **釜石市 生活環境課 消費生活センター　TEL 0193-22-2111（代）**

司法書士無料法律相談

（1）司法書士無料法律相談
■**日時**　3月22日（金）
10：00～13：00
■**場所**　おしゃっち　会議室
※電話予約の人を優先します。
■**予約先**　岩手県司法書士会
TEL 019-623-3355（9:00～17:00）

（2）岩手県司法書士会電話無料相談
火曜日、木曜日　10：00～13：00
TEL 0120-823-815（通話料無料）

弁護士巡回相談

経済的に余裕のない人を対象とした無料法律相談です。※相談は電話予約制

（1）巡回相談
■**日時**　3月27日（水）
13:00～15：30
■**場所**　役場3階　会議室
■**予約**　相談日の前日15:00まで

（2）出前相談
■**日時**　3月21日（木）
13：30～16：00
■**場所**　ご自宅または法テラス号車内
■**予約**　相談日の前日15：00まで

問 **法テラス気仙　TEL 0570-078385**
（9:00～17:00）

半歩先行くお気遣い　気持ちが楽になるお葬式
大槌家族葬ホール　1組貸切式場
思い出に「ありがとう」の気持ちを添えて。
貸切会場はまるで自宅にいるようなあたたかさ
■貸切だから気兼ねなくお過ごしいただけます
■現代の葬儀事情に丁度いい大きさのホールです
■地元出身の担当者が対応させていただきます
【見学会】いつでも見学できます。
御来館の皆様には粗品を進呈！
事前相談を行った方は葬儀ご利用時に割引いたします。
事前のご相談・資料請求・ご依頼は
ハウスセレモニー株式会社
末広町11-7　☎27-9904

おめでた・おくやみ（敬称略）
1月16日～2月15日

出　生

佐々木　羽玲（諄太・桜木町）

婚　姻

前川　拓人（花輪田）
小池　雅美（花輪田）

死　亡

大和田　ツ　ヨ	（81・末広町）	1/16
田代　昌士	（83・末広町）	1/16
千田　哲男	（84・大　町）	1/18
八幡　徳美	（85・桜木町）	1/17
黒沢　タカ子	（85・赤浜三）	1/19
佐々木　けい子	（75・桜木町）	1/22
藤原　ミネ子	（86・吉里吉里四）	1/23
佐々木　恭子	（71・戸保野）	1/25
新沼　ミヤ	（90・花輪田）	1/30
菊池　　悦	（81・大ケ口二）	1/31
阿部　光二郎	（92・迫　又）	2/1
阿部　新平	（77・徳　並）	2/7
坂下　慶一	（87・上　町）	2/7
中村　チヤ	（94・蕨打直）	2/9
畠山　正平	（92・大ケ口一）	2/10
阿部　六之助	（93・中　山）	2/12
佐野　喜与志	（56・吉里吉里二）	2/13

※大槌町役場に届出を提出した人で、広報掲載を希望した場合のみ掲載しています。

最終処分場放流水の水質について

2月14日に採水した、一般廃棄物最終処分場放流水の水質分析結果と放射性物質濃度測定結果について、基準値を超える項目はありませんでした。

問 **リサイクルセンター**
TEL 0193-42-7570

お知らせ

大槌町東日本大震災津波追悼式および追悼献花のご案内

東日本大震災津波で犠牲になられた人たちを慰霊・追悼するため、追悼式および追悼献花を執り行います。

下記のとおり献花会場を設けますので、多くの皆さまの献花をお願いします。

また、追悼式に参列を希望する場合は、開始時間前までに会場にお越しください。席数に限りがありますのであらかじめご了承ください。

■**開催日**　3月11日（月）

■**時間**

（1）追悼献花
9：00～12：00、16：00～17：00
（12：00～16：00はエントランスホールに献花台を設けます）

（2）追悼式　14：30～15：30

■**場所**　おしゃっち　多目的ホール

※時間内であれば、自由にどなたでも献花することができます。献花用のお花は会場に用意しています。

問 **総務課**　TEL 0193-42-8710

3月19日（火）と3月22日（金）有線テレビが夜間停止します

大槌町有線テレビジョンの設備更新工事に伴い、3月19日（火）と3月22日（金）の2日、夜間に放送が停止し、視聴できなくなる時間があります。ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

■**日時**

①3月19日（火）1：00～1：30
（衛星放送のみ停止）

②3月22日（金）0：00～2：30
（すべてのチャンネル停止）

■**対象**　有線テレビ加入世帯

問 **総務課**　TEL 0193-42-8710

4月から民法の嫡出推定制度が変わります

離婚後300日以内に生まれた子について、母が前夫以外の男性と再婚した後に生まれた場合には、再婚した夫の子として推定されることになるため、再婚後の夫を父とする出生の届出が可能となります。また、今回の改正で、子および母も「嫡出否認の訴え」を提起できるようになります。

改正内容の詳細は、法務省ホームページでご確認ください。

問 **町民課**　TEL 0193-42-8713

山火事にご注意ください！

冬から春にかけて空気が乾燥し、小さな火種から大きな火事につながることもあります。たばこの火の不始末や野焼きなどには十分注意し、山火事の防止に努めましょう。

問 **産業振興課**　TEL 0193-42-8717

休日当番医のお知らせ［釜石医師会］

日　程	当　番　医 ／ 所在地・電話番号
3月10日（日）	小泉医院（外・内） 釜石市中妻町 3-6-6　TEL 0193-23-5157
3月17日（日）	藤井小児科内科クリニック（小・内） 大槌町小鎚 27-3-4 シーサイドタウンマスト2階　TEL 0193-42-7788
3月20日（水）	国立釜石病院（小・内） 釜石市定内町 4-7-1　TEL 0193-23-7111
3月24日（日）	はまと神経内科クリニック（神・内） 釜石市鵜住居町 2-202　TEL 0193-29-1212
3月31日（日）	大槌おおのクリニック（内・循内） 大槌町吉里吉里 2-9-20　TEL 0193-44-3122
4月7日（日）	平野内科医院（内） 釜石市只越町 3-3-3　TEL 0193-22-1273

休日当番医は、専門的な治療ではなく応急処置が原則です。不要不急の休日の受診は避けましょう。適切な休日当番医の利用をお願いします。
※入院が必要な場合は、県立釜石病院またはせいてつ記念病院が対応します。

休日当番歯科医のお知らせ［釜石歯科医師会］

日　程	歯　科　医　院 ／ 所在地・電話番号
3月10日（日）	平松歯科医院 釜石市野田町 2-21-15　TEL 0193-25-0315
3月17日（日）	鈴木歯科医院 釜石市中妻町 3-7-10　TEL 0193-23-5908
3月24日（日）	三浦歯科クリニック 釜石市平田 3-29-9　TEL 0193-55-6480
3月31日（日）	やえがし歯科医院 釜石市平田 5-12-38　TEL 0193-36-1182
4月7日（日）	おおつちじょうない歯科医院 大槌町大ケ口 2-100-10　TEL 0193-42-8418

■**診療日**　毎週日曜日　■**診療時間**　9：00～12：00

問 **健康福祉課**　TEL 0193-42-8716

県立大槌病院外来のお知らせ
時間外・土日・祝日は完全休診です

内　科	月曜日～金曜日［午前］	整形外科	月曜日 18日［午前］／11日、25日［午後］	皮膚科	11日［午前］
外　科	月曜日～金曜日［午前］			眼　科	月曜日・木曜日［午後］

一般葬から家族葬・社葬等ご要望に応じて承ります。
新町家族葬会館
新町通夜会館
博英典礼　仏壇・仏具・慶弔花環・葬儀一式・霊柩運送
当会館での葬儀費用の全額※を各種クレジットカードでお支払いできます。
※お布施は除く
24時間年中無休
〒028-1121　大槌町小鎚26-164-15（花輪田）　TEL 0193-42-7617　FAX 42-3767

3.11 あの日から未来へ
震災津波を語り伝える
4人に復興大臣が感謝状を贈呈

団体所属

一般社団法人おらが大槌夢広場
代表理事　神谷（かみたに）　未生（みお）さん

個　人

越田（こした）　征男（ゆきお）さん

藤本（ふじもと）　俊明（としあき）さん

伊藤（いとう）　正治（しょうじ）さん
（盛岡市）

復興庁は令和5年6月から7月にかけて、町内で震災伝承の活動を重ねてきた団体所属1人と個人3人に、感謝状を贈りました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波から10年以上もの月日が流れた中で、多くの人たちが、自身の被災体験や地域の被害状況、復興の取り組みを発信し、このような悲しい出来事が二度と起こらないように防災・減災の知識普及に貢献してきました。こうした震災伝承の第1線で活躍する皆さんに改めて感謝の意を示し、取り組みの更なる充実と次世代の伝承活動の担い手を確保していく期待も込めて、岩手県、宮城県、福島県で語り部等の活動を行う団体所属・個人計67人に贈られました。

問 **協働地域づくり推進課**　TEL 0193-42-8718

広報 おおつち 2024 3月号
発行／大槌町
TEL 0193(42)8718
編集／協働地域づくり推進課 〒028-1192
FAX 0193(42)3855
岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3
HP https://www.town.otsuchi.iwate.jp/
印刷／㈱東海印刷所

おらDoの協Do！

～人と人が集まり、出会いとつながりが広がる中で生まれる「おもっせえ」おおつち～

協働による地域・まちづくりを実践し、人と人との出会いやつながりを生み出している「おもっせえ」人や活動を紹介します。みんなやっぺし協働！

“おもっせぇ”企画、みんなで考えたら、実現しました！

～令和5年度第2回大槌町コミュニティ協議会～

2月15日（木）、今年度2回目の大槌町コミュニティ協議会がおしゃっちで開催され、自治会や町内会、地域で活動する団体、大槌高校生など、63名の住民が集いました。

会議では、令和5年7月20日（木）に開催した第1回大槌町コミュニティ協議会の「“おもっせぇ大槌”企画会議」で発案された取組事例の発表と、企画内容をさらにブラッシュアップするためのグループワークを行いました。

取組事例では、「吉里吉里地区凧上げ大会」と、「源水地区防災スタンプラリー」が紹介され、協議会での企画を活かした点や、変更した点、参加者の反応などについて共有されました。

また、グループワークでは、前回発案した企画の実現をイメージし、さらに具体的な事業検討を行いました。前回の提案内容に対して、新たなアイデアや改善点、地域のノウハウを活かした強みなどをグループで話し合い、運営資金の調達先や参加者を呼び込むための工夫など、さまざまな視点で取り組みの磨き上げを行いました。

今回は、地域活動に関心を持つ大槌高校の生徒が各グループに参加し、若者の視点から企画に対する感想や思いついたアイデアなどを発言。発表では、「企画を高校生らが担当し、大人が実現に向けてサポートすることで若者や親世代の参加をねらう」といった斬新な計画変更をプレゼンテーションするグループもありました。参加者からは、「企画をさらに吟味し、深めることができて参考になった」「高校生も参加し、雰囲気が明るくなった。若い世代の意見は貴重」など前向きな意見、感想が聞かれました。

この企画会議などを通して、各団体の経験やアイデアを共有し、地域が抱える課題解決や魅力的な地域運営に役立てられるよう、町は引き続き、地域同士のネットワークづくりや連携強化に取り組んでいきます。

問 協働地域づくり推進課 TEL 0193-42-8718

人口情報 【人口】10,684人（前月比－24人）【世帯数】5,266世帯（前月比－12世帯）（令和6年1月末現在）